

7月5日：流動性の改善を伴いVN指数は続伸（VN指数 +0.23%）

- VN指数は朝から上昇して始まり、その後も取引時間中は前日終値を上回って取引された。
- 指数は小幅なレンジで取引され、最終的には0.23%高の小幅な動きとなった。
- 投資家心理も改善した。流動性は前日に比べて増加し、出来高は7.7億株、売買代金は17.2兆ドン（前日は14.6兆ドン）だった。
- 銀行セクターが0.74%高となり、指数を大きく押し上げた。
- 売り方は優勢にならず、引けにかけても売りは強まらなかった。
- 218銘柄が上昇し、183銘柄が下落、78銘柄は変わらずで買われた銘柄数が下落銘柄数を上回った。

VN30指数は、VN指数と同様の動き（VN30指数 +0.16%）

- 時価総額・流動性の大きい30銘柄で構成するVN30指数は、16銘柄が上昇、14銘柄が下落した。
- 大きく上昇したのは、HPG（+2.7%）、VCB（+2.0%）、VIB（+1.3%）、一方下落したのはVNM（-1.1%）、SSI（-1.1%）、NVL（-1.0%）などだった。
- セクター内でもまちまちの動きとなっていた。

セクター・個別株の動き

- ホアファットグループ（HPG）が2.67%高と大幅高となった。需要低迷の為に停止していた最後の高炉が第3四半期にも運転開始する可能性があるとのニュースを受けてのことだった。
- HPGの動きに続き、資材セクターが上昇し相場を牽引した。建設資材関連では、HPG以外にもNKG（+1.1%）、PTB（+1.6%）、HSG（+0.6%）といった銘柄が買われた。

- 外国人投資家は1,831億ドルの買い越しとなった。HPG、TCM (-2.1%) に買いが集まった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。